

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-216858

(43)Date of publication of application : 04.08.2000

(51)Int.Cl.

H04M 1/00

H04M 1/27

(21)Application number : 11-016490

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 26.01.1999

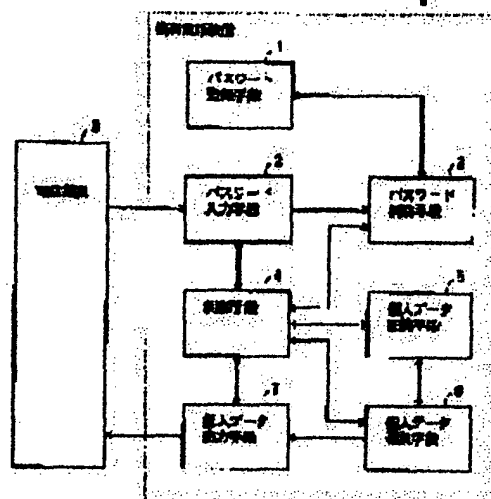
(72)Inventor : KONDO KIYOMI
KONDO AKIRA

(54) PORTABLE TELEPHONE SYSTEM AND ITS REMOTE PERSONAL DATA CALLING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To utilize personal data by calling a telephone directory, etc., loaded on a portable telephone system from other telephone system at a remote place even when an owner does not carry one's own portable telephone system at present.

SOLUTION: This system 9 is provided with a password registering means 1 to previously register an individual password, a personal data storage means 5 to store individual data, a password discriminating means 3 to discriminate whether an individual password transmitted from the other telephone system 8 to the owner's portable telephone system 9 by dialing is coincident with the individual password which is registered in the password registering means 1 or not, a control means 4 to call the individual data which are stored in the storage means 5 according to a request from the other telephone system when the individual passwords are coincident by discrimination of the password discriminating means 3 and an individual data output means 7 to output the called individual data to the telephone system 8.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-216858
(P2000-216858A)

(43) 公開日 平成12年8月4日(2000.8.4)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード(参考)

H 0 4 M 1/00
1/27

H 0 4 M 1/00
1/27

B 5 K 0 2 7
5 K 0 3 6

審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平11-16490

(22) 出願日 平成11年1月26日(1999.1.26)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 近藤 清美

宮城県仙台市泉区明通二丁目5番地 株式
会社松下通信仙台研究所内

(72) 発明者 近藤 公

宮城県仙台市泉区明通二丁目5番地 株式
会社松下通信仙台研究所内

(74) 代理人 100079544

弁理士 斎藤 勲

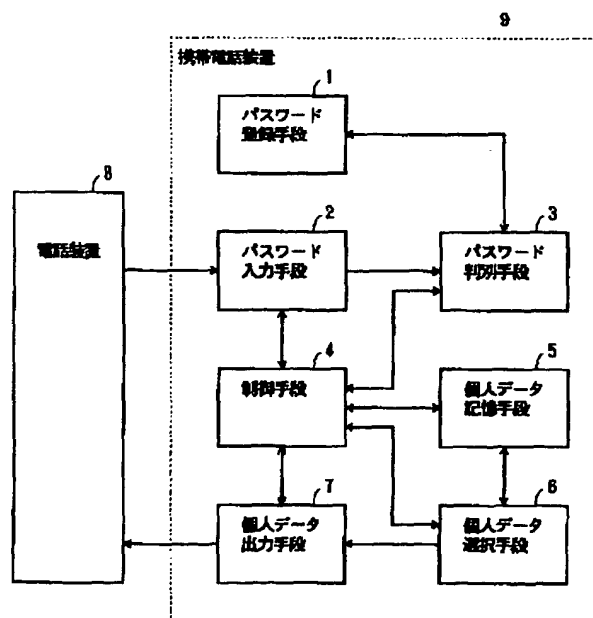
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話装置及びその遠隔個人データ呼出し方法

(57) 【要約】

【課題】所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合でも、遠隔地の別の電話装置から携帯電話装置に搭載されている電話帳等呼び出して個人データを利用できるようにする。

【解決手段】個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段1と、個人データを記憶する個人データ記憶手段5と、他の電話装置8から所有者の携帯電話装置9に対しダイヤルして送信した個人別パスワードがパスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段3と、パスワード判別手段の判別により個人別パスワードが一致したときに、他の電話装置からの要求に従い、記憶手段に記憶されている個人データを呼び出す制御手段4と、呼び出された個人データを電話装置8に対し出力する個人データ出力手段7とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、個人データを含む個人情報を記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている個人情報の呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段とを具備し、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し要求された個人情報を出力するようにしたことを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 2】前記記憶手段は少なくとも相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データを個人データとして記憶し、前記携帯電話装置は前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し前記個人データの検索コードを要求し、その検索コードに従い前記記憶手段に記憶されている個人データを呼び出す制御手段と、前記呼び出された個人データを前記他の電話装置に対し出力する出力手段とを備えることを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話装置。

【請求項 3】個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、着信があったときにその着信履歴を記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている着信履歴の呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段と、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置から受けた検索コードに従い前記記憶手段に記憶されている着信履歴を呼び出す制御手段と、前記呼び出された着信履歴を前記他の電話装置に対し出力する出力手段とを備えることを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 4】個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、伝言メッセージがあったときにその伝言メッセージを記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている伝言メッセージの呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段と、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置から受けた検索コードに従い前記記憶手段に記憶されている伝言メッセージを呼び出す制御手段と、前記呼び出された伝言メッセージを前記他の電話装置に対し出力する出力手段を備えることを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 5】前記携帯電話装置は、前記他の電話装置からダイヤルして要求され前記記憶手段から呼び出された個人データの中から、電話帳データか着信履歴データかまたは伝言メッセージを出力するかを選択する個人データ選択手段を備えることを特徴とする請求項 1、2、3

または 4 記載の携帯電話装置。

【請求項 6】前記個人別パスワードは文字列および番号からなり、前記個人別パスワードを登録する際に入力する操作手段を備え、前記操作手段の操作により前記個人別パスワードを任意に登録、削除するようにしたことを特徴とする請求項 1、2、3、4 または 5 記載の携帯電話装置。

【請求項 7】前記個人別パスワードは所有者の発声する音声からなり、発声した音声を入力する音声入力手段と、音声を認識する音声認識手段と、前記音声認識手段において認識された音声を登録する音声登録手段とを備えることを特徴とする請求項 1、2、3、4 または 5 記載の携帯電話装置。

【請求項 8】前記携帯電話装置は、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出された個人データの出力形態を選択する出力形態選択手段を備えることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5、6 または 7 記載の携帯電話装置。

【請求項 9】前記携帯電話装置は、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において音声出力が選択された個人データを音声合成する音声合成手段を備え、音声合成された個人データの音声を前記他の電話装置のスピーカから出力するようにしたことを特徴とする請求項 8 記載の携帯電話装置。

【請求項 10】前記個人データ出力手段は、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において出力コードとして表示用コードが選択された個人データを出力し、前記他の電話装置の表示手段に表示するようにしたことを特徴とする請求項 8 記載の携帯電話装置。

【請求項 11】前記個人データ出力手段は、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において出力コードとして印刷用コードが選択された個人データを出力し、前記他の電話装置の印刷手段により印刷するようにしたことを特徴とする請求項 8 記載の携帯電話装置。

【請求項 12】携帯電話装置において、個人別パスワードをあらかじめ登録し、個人データを含む個人情報を記憶しておき、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている個人情報の呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別する各工程からなり、前記入力した個人別パスワードが登録されている個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し要求された個人情報を出力するようにしたことを特徴とする携帯電話装置の遠隔個人データ呼び出し方法。

【請求項 13】前記記憶されている個人データは、少な

くとも相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データからなり、前記入力した個人別パスワードが登録されている個人別パスワードが一致したときに、記憶されている前記他の電話装置に要求された個人データを読み出し、前記読み出された個人データを前記他の電話装置に対し出力することを特徴とする請求項 12 記載の携帯電話装置の遠隔個人データ呼び出し方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話装置に関し、特に他の電話装置から携帯電話装置にダイヤルしそこに登録されている個人データ等を読み出し、その個人データ等を他の電話装置で利用することができるようにした携帯電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、携帯電話装置の普及が著しく、それに伴って多種多様な機能が携帯電話装置に搭載されるようになってきている。その機能としては色々あるが、一例をあげれば次のようなものがある。例えば、相手先の電話番号を相手先名と共にメモリに記憶しておき、キーワードまたは検索コードとして相手先名を入力することにより呼び出し指示を行うと、該当する相手先名と相手先の電話番号とを読み出して表示する、いわゆる電話帳機能がある。このような電話帳機能を携帯電話装置に搭載することにより、所有者は相手先の電話番号を覚えておかなくとも、相手先名を頼りに相手先の電話番号を読み出して電話を掛けることが出来る。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の電話帳機能を有する携帯電話装置は、通常の電話帳を所持しなくてもよく、また間違い電話を防止することができるなど有益ではあるが、その反面、携帯電話装置に搭載されている各種機能を利用し、特に全ての電話帳データを携帯電話装置に登録して電話帳機能を頼りにしている所有者が、その携帯電話装置を携帯することを忘れた場合等には多くの弊害が生じるものと考えられる。

【0004】例えば、携帯電話装置を携帯していないと、電話帳データを覚えていないため相手先に電話が掛けられない、着信しているかまたは着信があったかどうか分からない、伝言メッセージが入っているかどうか分からない、仮に入っていたとしても確認することも出来ない、などという問題があった。

【0005】本発明は、上記従来の問題を解決するためになされたもので、電話帳等に個人データが記憶されている携帯電話装置に対し個人別パスワードをあらかじめ登録しておき、携帯電話装置の所有者が他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、個人データの出力要求をした場合、電話装置から入力した個人別パスワードが既に登録されている個人別パスワードと一致したときに、所有者がダイヤルした電話装置に対して所

望の個人データを送信するようにして、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合でも、遠隔地の別の電話装置から携帯電話装置に搭載されている電話帳等を読み出して個人データを利用することができる携帯電話装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、個人データを記憶する記憶手段と、他の電話装置から所有者の携帯電話装置に対しダイヤルして個人別パスワードを送信したことにより入力した個人別パスワードがパスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段と、パスワード判別手段の判別により個人別パスワードが一致したときに、他の電話装置からの個人データの出力要求に従い、記憶手段に記憶されている個人データを読み出す制御手段と、読み出された個人データを出力する出力手段とを備えるようにしたものである。

【0007】本発明は、このように構成したことにより、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合でも、他の電話装置から所有者の携帯電話装置に対しダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、ダイヤルした電話装置に対して、他の電話装置から要求した個人データを出力することができる携帯電話装置及びその遠隔個人データ呼び出し方法が得られる。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の請求項 1 に記載の発明は、個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、個人データを含む個人情報を記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている個人情報の読み出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段とを具備し、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し要求された個人情報を出力するようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている個人データをどこからでも読み出して確認することができるという作用を有する。

【0009】本発明の請求項 2 に記載の発明は、前記記憶手段が少なくとも相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データを個人データとして記憶し、前記携帯電話装置は前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し前記個人データの検索コードを要求し、その検索コードに従い前記

記憶手段に記憶されている個人データを呼び出す制御手段と、前記呼び出された個人データを前記他の電話装置に対し出力する出力手段とを備えるようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データをどこからでも呼び出して確認することができるという作用を有する。

【0010】また、本発明の請求項3に記載の発明は、個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、着信があったときにその着信履歴を記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている着信履歴の呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段と、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置から受けた検索コードに従い前記記憶手段に記憶されている着信履歴を呼び出す制御手段と、前記呼び出された着信履歴を前記他の電話装置に対し出力する出力手段とを備えるようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている着信履歴をどこからでも呼び出して取得することができるという作用を有する。

【0011】また、本発明の請求項4に記載の発明は、個人別パスワードをあらかじめ登録するパスワード登録手段と、伝言メッセージがあったときにその伝言メッセージを記憶する記憶手段と、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている伝言メッセージの呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記パスワード登録手段に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別するパスワード判別手段と、前記パスワード判別手段において個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置から受けた検索コードに従い前記記憶手段に記憶されている伝言メッセージを呼び出す制御手段と、前記呼び出された伝言メッセージを前記他の電話装置に対し出力する出力手段を備えるようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている伝言メッセージをどこからでも呼び出して取得することができるという作用を有する。

【0012】また、本発明の請求項5に記載の発明は、前記携帯電話装置が、前記他の電話装置からダイヤルし

て要求され前記記憶手段から呼び出された個人データの中から、電話帳データか着信履歴データかまたは伝言メッセージを出力するかを選択する個人データ選択手段を備えるようにしたものであり、電話帳データか着信履歴か或いは伝言メッセージのうち、所有者が要求するデータのみを呼び出すことができるという作用を有する。

【0013】また、本発明の請求項6に記載の発明は、前記個人別パスワードが文字列および番号からなり、前記個人別パスワードを登録する際に入力する操作手段を備え、前記操作手段の操作により前記個人別パスワードを任意に登録、削除するようにしたものであり、所有者が自由に個人別パスワードの変更または更新することができ、また定期的に変更することができることよりセキュリティ効果が向上するという作用を有する。

【0014】また、本発明の請求項7に記載の発明は、前記個人別パスワードが所有者の発声する音声からなり、発声した音声を入力する音声入力手段と、音声を認識する音声認識手段と、前記音声認識手段において認識された音声を登録する音声登録手段とを備えるようにしたものであり、音声を登録した所有者の声以外には反応しないことより、セキュリティ効果が向上するという作用を有する。

【0015】また、本発明の請求項8に記載の発明は、前記携帯電話装置が、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出された個人データの出力形態を選択する出力形態選択手段を備えるようにしたものであり、所有者がダイヤルした電話装置に対応し、または所有者の好みに応じて選択する出力形態で個人データを出力することができるという作用を有する。

【0016】また、本発明の請求項9に記載の発明は、前記携帯電話装置が、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において音声出力が選択された個人データを音声合成する音声合成手段を備え、音声合成された個人データの音声を前記他の電話装置のスピーカから出力するようにしたものであり、出力要求があった個人データを音声合成された音声により、所有者がダイヤルした電話装置のスピーカから出力することができるという作用を有する。

【0017】また、本発明の請求項10に記載の発明は、前記個人データ出力手段が、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において出力コードとして表示用コードが選択された個人データを出力し、前記他の電話装置の表示手段に表示するようにしたものであり、出力要求があった個人データを所有者がダイヤルした電話装置のLCD等の表示手段に出力することにより、所有者がメモなど記録媒体を持っていないと、電話装置の表示手段に表示して出力要求した個人デ

ータを目で確認することができるという作用を有する。

【0018】また、本発明の請求項11に記載の発明は、前記個人データ出力手段が、前記他の電話装置からの要求に応じ、前記制御手段の制御により前記記憶手段から呼び出され、前記出力形態選択手段において出力コードとして印刷用コードが選択された個人データを出力し、前記他の電話装置の印刷手段により印刷するようにしたものであり、出力要求があった個人データを所有者がダイヤルした電話装置の印刷手段により用紙に印刷することにより、所有者がメモなど記録媒体を持っていないと、出力要求した個人データを目で確認することができるという作用を有する。

【0019】また、本発明の請求項12に記載の発明は、携帯電話装置において、個人別パスワードをあらかじめ登録し、個人データを含む個人情報を記憶しておき、他の電話装置からダイヤルして前記記憶されている個人情報の呼出し要求を伴い入力した個人別パスワードが前記登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別する各工程からなり、前記入力した個人別パスワードが登録されている個人別パスワードが一致したときに、前記他の電話装置に対し要求された個人情報を出力するようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている個人データをどこからでも呼び出して確認することができるという作用を有する。

【0020】また、本発明の請求項13に記載の発明は、前記記憶されている個人データが、少なくとも相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データからなり、前記入力した個人別パスワードが登録されている個人別パスワードが一致したときに、記憶されている前記他の電話装置に要求された個人データを呼び出し、前記呼び出された個人データを前記他の電話装置に対し出力するようにしたものであり、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合等でも、他の電話装置からダイヤルして個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときに、携帯電話装置に記憶されている相手先名や相手先の電話番号等の電話帳データをどこからでも呼び出して確認することができるという作用を有する。

【0021】以下、添付図面、図1乃至図3に基づき、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

(第1の実施の形態) まず、図1を参照して、本発明の第1の実施の形態における携帯電話装置の構成を説明する。図1は本発明の第1の実施の形態における携帯電話装置の構成を示すブロック図である。図1に示す本第1の実施の形態における携帯電話装置は、電話帳等に個人データが記憶されている携帯電話装置に対しその所有者

が個人別パスワードをあらかじめ登録しておき、他の電話装置から所有者の携帯電話装置にダイヤルして、その個人別パスワードを送信したことにより入力した個人別パスワードが既に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別し、その個人別パスワードが一致すると判断されて、記憶手段に記憶されている電話帳データ等個人データの出力要求があった場合に、携帯電話装置の所有者がダイヤルした電話装置に対し要求された個人データを携帯電話装置から出力するようにしたものである。

【0022】図1において、1は図示しない操作手段(図2及び図3に示す操作手段10と併用するものでもよい)等から入力した個人別パスワードが登録されているパスワード登録手段、2は電話装置8からの個人別パスワードを入力するパスワード入力手段、3は入力した個人別パスワードとパスワード登録手段1から取り出された個人別パスワードとを比較判別するパスワード判別手段、4は個人別パスワードが記憶されているものと一致したときに記憶手段に記憶されている個人データを呼び出す等制御する制御手段、5は個人データ(電話帳データ、着信履歴、伝言メッセージなど)等の個人情報を記憶する個人データ記憶手段である。

【0023】また、6は個人データ記憶手段5から読み出された1群の個人データの中から、例えば電話帳データ、着信履歴、伝言メッセージなど、出力する個人データを選択する個人データ選択手段、7は個人データを電話装置8に対して出力する個人データ出力手段であり、上記各構成部は本発明の携帯電話装置9を構成する。また、8は携帯電話装置9の所有者が外部からダイヤルする電話装置である。なお、本第1の実施の形態におけるパスワード登録手段1に登録されている個人別パスワードの登録の形態(文字コードか音声か)及び登録の仕方(固定か可変か)は特に規定しない。なお、個人データは、本実施の形態では、相手先名や相手先の電話番号等を含む電話帳データを含み、その他、他人に知られたくない個人情報を含むものでもよい。

【0024】また、本第1の実施の形態では、個人データは個人データ記憶手段に記憶しておくが、個人データ記憶手段の他に、着信があった場合にその着信履歴を記憶する着信履歴記憶手段と、伝言メッセージがあった場合にその伝言メッセージを記憶する伝言メッセージ記憶手段とを備えてもよく、その場合、それら3つの記憶手段を総合的な記憶装置の中に設けても、または個人データ記憶手段の中に設けてもよい。また、個人データは如何なる従来の方法で記憶してもよいが、少なくとも相手先の名前と相手先の電話番号とを電話帳データの形態で記憶するのが望ましく、その他、例えば、相手先名称、相手先住所、登録番号等希望する事項を付加してもよい。

【0025】次に、図1を参照して、本発明の第1の実

施の形態における携帯電話装置の動作を説明する。所有者は、個人別パスワードをあらかじめパスワード登録手段 1 に登録しておく。個人別パスワードの登録方法は、下記第 2 の実施の形態において詳細に説明する。

【0026】いま、例えば、携帯電話装置 9 の所有者が携帯電話装置 9 を携帯するのを忘れたか、途中で電話する必要がある場合等所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合に、他の電話装置 8 から携帯電話装置 9 にダイヤルして、通常の発呼手順に従い携帯電話装置 9 を呼び出す。携帯電話装置 9 側で他人がその呼び出しに回答した場合は本実施の形態における遠隔個人データ呼出し機能を使用しないので説明は省略する。従って、本実施の形態においては、携帯電話装置 9 側では誰もその呼び出しに回答しないものとするので、呼出し音が鳴動し続ける。その状態において、携帯電話装置 9 は常にパスワード待ち受け状態になっているので、携帯電話装置 9 の所有者は電話装置 8 の操作手段の操作により、または音声により自己の個人別パスワードを電話装置 8 に入力する。個人別パスワードの送信の際、ファクシミリを使用することもでき、その場合、携帯電話装置 9 はファクシミリのトーンを聞いたときに、個人別パスワードの他必要な情報を一度に受信するようにすればよい。

【0027】携帯電話装置 9 は電話装置 8 から送信された所有者の個人別パスワードをパスワード入力手段 2 を介して受信すると、パスワード判別手段 3 において、受信した所有者の個人別パスワードが既にパスワード登録手段 1 に登録されている個人別パスワードと一致するか否かを判別する。判別された結果、現在入力した個人別パスワードと登録されている個人別パスワードとが一致すると、制御手段 4 は電話装置 8 側にいる所有者に対し個人データの呼出し要求か否かを質問する。なお、不一致の場合は回答がない。質問に対し、所有者は電話装置 8 を介してハイまたはイエエを操作手段または音声により答えるが、イエエであれば、着信履歴の要求か、或いは伝言メッセージの要求かを順次質問する。ここでは個人データの呼出し要求であるからハイと答える。

【0028】次に、携帯電話装置 9 の制御手段 4 は電話装置 8 側にいる所有者に対し要求する個人データの検索コードを質問する。検索コードとしては、相手先名、名称または登録番号等のような相手先を判別できるものであれば、どのようなものでもよい。所有者が携帯電話装置 9 に対して検索コードを入力すると、携帯電話装置 9 は最後に携帯電話装置 9 からの個人データの出力形態、すなわち、音声出力か、ファクシミリ出力か、またはデータ表示出力かを電話装置 8 側にいる所有者に対して質問する。なお、個人データの出力形態の選択については、下記第 3 の実施の形態において詳細に説明する。そこで、所有者は電話装置 8 から携帯電話装置 9 に対して個人データの出力形態を入力する。これら一連の質問に

対する応答は、前述と同様、電話装置 8 の操作手段の操作、または音声により行うことができる。

【0029】携帯電話装置 9 は、このようにして、一連の発呼手順に従い、電話装置 8 から個人別パスワードに続いて送信された個人データの呼出し要求を受けて、制御手段 4 の制御により、個人データ記憶手段 5 に記憶されている個人データが電話装置 8 から個人データの呼出し要求に続いて送信された氏名、名称または登録番号等のような検索コード等を用いて検索され、読み出される。個人データ記憶手段 5 から読み出された個人データは、同一の検索コードのもとに記憶されている場合、電話帳データ、着信履歴データ及び伝言メッセージデータが同時に呼び出されるので、個人データ選択手段 6 において、制御手段 4 の制御により、例えば、電話帳データなど、要求した個人データが選択される。選択された個人データは、個人データ出力手段 7 により携帯電話装置 9 の所有者がダイヤルした電話装置 8 に出力される。

【0030】なお、上記において、個人データの呼出し要求に代わり、着信履歴の呼出し要求または伝言メッセージの呼出し要求についても個人データの呼出し要求と同様に個別的に実行することができる。しかし、着信履歴データまたは伝言メッセージデータについては、個人データの呼出し要求をしたときにそれに付随して自動的に供給するようにしてもよい。その場合は、個人データの呼出し要求か否かの質問は省略することができる。

【0031】また、携帯電話装置 9 の所有者からの呼出し要求に従い個人データか着信履歴データか伝言メッセージデータを個別に呼び出す場合、どのデータを出力するかは、所有者からの呼出し要求を受けた制御手段 4 の制御により個人データ記憶手段を選択するか、着信履歴記憶手段を選択するかまたは伝言メッセージ記憶手段を選択することにより実現することができる。

【0032】以上説明したように、本発明の第 1 の実施の形態における携帯電話装置によると、所有者が現在自己の携帯電話装置を携帯していない場合でも、他の電話装置からダイヤルして、個人別パスワードを入力し、その個人別パスワードが登録されている個人別パスワードと一致したときは、記憶されている個人データ等と呼び出すことが可能になり、どこからでも、携帯電話装置の所有者が必要とするデータと呼び出すことが可能になる。

【0033】（第 2 の実施の形態）次に、図 2 を参照して、本発明の第 2 の実施の形態における携帯電話装置の構成を説明する。図 2 は本発明の第 2 の実施の形態における携帯電話装置の構成を示すブロック図である。本発明の第 2 の実施の形態は、上記に示す第 1 の実施の形態における携帯電話装置に対し個人別パスワード設定登録手段を加えたものである。

【0034】図 2 において、10 は個人別パスワード入力用の操作手段（例えば、キースイッチ等）でよく、他の

制御用の操作手段と併用してもよい)、11は個人別パスワード入力用の音声入力手段(例えば、マイクロホン等)でよく、他の電話装置に出力する音声入力用の音声入力手段と併用してもよい)、12は音声認識手段、13は音声登録手段であり、これ以外の構成要素は上記第1の実施の形態のものと同様であるから説明を省略する。そして、これらすべての構成要素により本第2の実施の形態における携帯電話装置9を構成する。また、操作手段10、音声入力手段11、音声認識手段12及び音声登録手段13はパスワード設定登録手段を構成する。

【0035】また、本第2の実施の形態において、電話帳データ等の個人データは個人データ記憶手段5に記憶しておくが、その他、着信があった場合にその着信履歴を記憶する着信履歴記憶手段や、伝言メッセージがあった場合にその伝言メッセージを記憶する伝言メッセージ記憶手段などを備えてもよく、その場合、それら3つの記憶手段を総合的な記憶装置の中に設けても、または個人データ記憶手段の中に設けてもよい。但し、検索コードは同一のため、それら3つのデータが同時に呼び出される場合もあるので、そのときは個人データ選択手段6で選択すればよい。また、本第2の実施の形態においても、個人データは如何なる従来の方法で記憶してもよく、少なくとも相手先名と相手先の電話番号とを電話帳データとして記憶するのが望ましく、その他、例えば、相手先名称、相手先住所、登録番号等希望する事項を付加してもよい。

【0036】次に、図2を参照して、本発明の第2の実施の形態における携帯電話装置の動作を説明する。所有者は、本第2の実施の形態に従い、下記のように個人別パスワードをあらかじめパスワード登録手段1に登録しておく。まず、個人別パスワードを登録する際、所有者はキースイッチ等の操作手段10の操作により、個人別パスワードの入力を選択し、個人別パスワードを文字列および数字で作成した文字コードで構成して操作手段10から入力する。しかし、個人別パスワードは文字列のみまたは数字のみで構成してもよく、また文字列は仮名、漢字またはアルハベット等の外国文字或いはそれらの組み合わせで構成してもよい。作成された個人別パスワードは、パスワード登録手段1に登録しておく。

【0037】また、上記以外の個人別パスワードの登録方法としては、携帯電話装置9に設けられたキースイッチ等の操作手段10の操作により音声入力を選択して、音声個人別パスワードを登録することができる。すなわち、携帯電話装置9の所有者は操作手段10を操作することにより音声入力を選択し、マイクロホン11に向かって発声すると、発声した音声は音声認識手段12によって音声認識され、音声認識された音声は音声登録手段13に音声登録される。このように、音声の個人別パスワードは所有者が発声した音声から作成され、作成された音声の個人別パスワードは、パスワード登録手段1に

登録しておく。なお、一旦登録された個人別パスワードは操作手段10を通して任意に削除、変更することができる。

【0038】次に、個人別パスワードを登録した後、今登録した個人別パスワードを使用して、個人データの呼出し要求、着信履歴の呼出し要求または伝言メッセージの呼出し要求を実行するが、それらの動作手順については上記第1の実施の形態におけるものと同様のため、説明を省略する。

10 【0039】以上説明したように、本発明の第2の実施の形態によれば、所有者が携帯電話装置9の操作手段10またはマイクロホン11等の操作により、所望の個人別パスワードの登録及び変更を自由にできること、また、個人別パスワードに音声を登録すると、音声を登録した所有者の声以外には反応しないことよりセキュリティ効果を向上させることが出来る。

20 【0040】(第3の実施の形態)次に、図3を参照して、本発明の第3の実施の形態における携帯電話装置の構成を説明する。図3は本発明の第3の実施の形態における携帯電話装置の構成を示すブロック図である。本発明の第3の実施の形態は、上記に示す第2の実施の形態における携帯電話装置に対し出力形態選択手段14及び音声合成手段15からなる個人データ出力形態選択手段を加えたものである。

30 【0041】図3において、14は出力形態が音声信号か表示用コードか印刷用コードかを選択する出力形態選択手段、15は音声信号出力の場合に音声を合成して出力する音声合成手段、16は電話装置8の出力手段の1つである音声を出力するスピーカ、17は電話装置8の出力手段の1つである文字を表示するLCD等の表示手段、18は電話装置8の出力手段の1つである文字を印刷するファクシミリ等の印刷手段であり、これ以外の構成要素は上記第2の実施の形態のものと同様であるから説明を省略する。そして、これらすべての構成要素により本第3の実施の形態における携帯電話装置9を構成する。

40 【0042】次に、図3を参照して、本発明の第3の実施の形態における携帯電話装置の動作を説明する。まず、所有者は、本第3の実施の形態に従い、キースイッチ等の操作手段10を操作することによって、個人別パスワードを文字列および数字の文字コードで作成し、あらかじめパスワード登録手段1に登録しておく。また、個人別パスワード作成の他の手段としては、マイクロホン11に向かって発声した音声を音声登録手段13に音声登録して作成し、作成した個人別パスワードをパスワード登録手段1に登録するようにしてもよい。その他、個人別パスワード登録の詳細は、上記第2の実施の形態におけるものと同様であるから、詳細な説明は省略する。

50 【0043】次に、個人別パスワードを登録した後、個

人別パスワードを使用して個人データの呼出し要求を実行する動作手順について説明する。携帯電話装置 9 を携帯していない場合、携帯電話装置 9 に対し個人データの呼出し要求を実行するには、まず他の電話装置 8 から携帯電話装置 9 にダイヤルして、通常の発呼手順に従い携帯電話装置 9 を呼び出す。携帯電話装置 9 側で他人がその呼び出しに应答した場合は本実施の形態における遠隔個人データ呼出し機能を使用しないので説明は省略する。従って、本実施の形態においては、携帯電話装置 9 側では誰もその呼び出しに应答しないものとするので、呼出し音が鳴動し続ける。その状態において、携帯電話装置 9 は常にパスワード待ち受け状態になっているので、携帯電話装置 9 の所有者は電話装置 8 の操作手段の操作により、または音声により自己の個人別パスワードを電話装置 8 に入力する。

【0044】携帯電話装置 9 は電話装置 8 から受信した個人別パスワードが既にパスワード登録手段 1 に登録されている個人別パスワードと一致すると、携帯電話装置 9 の制御手段 4 は電話装置 8 にいる所有者に対して個人データの呼出し要求か否かを質問し、以下順に個人データの検索コードを質問する。所有者が携帯電話装置 9 に対し電話装置 8 から検索コードを入力すると、携帯電話装置 9 は最後に携帯電話装置 9 からの個人データの出力形態、すなわち、音声出力か、ファクシミリ出力か、またはデータ表示出力かを電話装置 8 側にいる所有者に対して質問する。そこで、所有者は電話装置 8 から携帯電話装置 9 に対して個人データの出力形態を入力する。これら一連の質問に対する応答は、前述と同様、電話装置 8 の操作手段の操作、または音声により行うことができる。また、個人データの出力形態を音声と決めておけば、出力形態に対する質問は省略することができる。なお、上記携帯電話装置 9 に対する電話装置 8 からの個人データの呼出し要求の動作のうち、上記第 1 の実施の形態におけるものと同様の部分については説明を省略する。また、電話装置 8 から個人別パスワードをファクシミリ送信する場合は、上記各質問に対する応答を個人別パスワードに続いて同時に送信することができる。

【0045】本第 3 の実施の形態における特徴により、出力される個人データの出力形態、例えば、音声信号出力か、表示用コード出力か、ファクシミリ等の印刷用コード出力かは、上記のようにダイヤルした遠隔地の電話装置 8 の機能に合わせて、所有者の指示に従い、出力形態選択手段 14 により選択される。すなわち、個人データ選択手段 6 によって選択された個人データは出力形態選択手段 14 により出力形態が選択され、音声信号か表示コードかファクシミリコード等に変換されて出力される。例えば、図 3 に示すように、音声信号による出力が選択されると、個人データは音声合成手段 15 によって音声合成され、音声合成された個人データは、所有者がダイヤルした電話装置 8 に送信され、そのスピーカ 16

から出力される。

【0046】また上記以外の個人データの出力形態として、表示による出力が選択されると、個人データは所有者がダイヤルした電話装置 8 の表示手段 17 に出力される。また上記以外の個人データの出力形態として、印刷による出力が選択されると、個人データは所有者がダイヤルした電話装置 8 の印刷手段 18 から用紙に出力される。なお、以上説明した第 3 の実施の形態における携帯電話装置の動作の説明において、上記第 1 及び第 2 の実施の形態において説明した部分についての詳細に説明は省略してある。

【0047】以上説明したように、本発明の第 3 の実施の形態によれば、電話装置 8 において、個人データは携帯電話装置の所有者が選択した音声か、表示かまたは印刷かの異なる出力形態で出力することが出来る。

【0048】なお、本発明の第 1 の実施の形態乃至第 3 の実施の形態における携帯電話装置に装備したような個人別パスワードを用いた個人データの送信機能は卓上型を含む他の如何なる形態の電話機にも装備して本実施の形態における効果と同様な効果を得ることができる。また、同様に、携帯電話装置の使用が遠隔地から個人データの送信を要求する電話装置は携帯電話装置でも通常の電話機でも如何なる形態の電話機でもよい。

【0049】

【発明の効果】本発明は、上記のように構成し、特に所有者が携帯電話装置を携帯していないときに、他の電話装置からダイヤルして、自己の個人別パスワードを送信し、携帯電話装置に既に登録してある自己の個人別パスワードと一致したときに、記憶されている個人データを呼び出すようにしたことにより、遠隔地から携帯電話装置の所有者が必要とする個人データを呼び出すことができるという効果が得られる。

【0050】また、本発明は、上記のように構成し、特に携帯電話装置の所有者が操作手段等の操作により、自己の個人別パスワードを自由自在に設定し及び変更することができること、及び音声を登録することにより所有者の声以外には反応しないようにしたことにより、セキュリティ効果をより一層向上することができるという効果が得られる。

【0051】また、本発明は、上記のように構成し、特に個人データの送信の要求を発信する電話装置の機能及び携帯電話装置の所有者の希望により、携帯電話装置から出力する個人データの出力形態を選択できるようにしたことにより、如何なる電話装置からでも、また身体が不自由な如何なる人でも、所有者が出力形態を自由に選択して、音声、文字表示または印刷でも希望する出力形態で個人データを入手することができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態における携帯電話装

15

置の構成を示すブロック図。

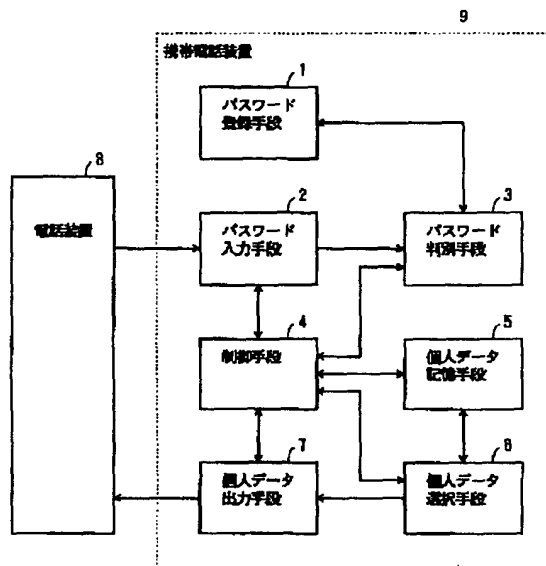
【図 2】本発明の第 2 の実施の形態における携帯電話装置の構成を示すブロック図。

【図 3】本発明の第 3 の実施の形態における携帯電話装置の構成を示すブロック図。

【符号の説明】

- 1 パスワード登録手段
- 2 パスワード入力手段
- 3 パスワード判別手段
- 4 制御手段
- 5 個人データ記憶手段
- 6 個人データ選択手段

【図 1】



16

7 個人データ出力手段

8 電話装置

9 携帯電話装置

10 キースイッチ等の操作手段

11 マイクロホン等の音声入力手段

12 音声認識手段

13 音声登録手段

14 出力形態選択手段

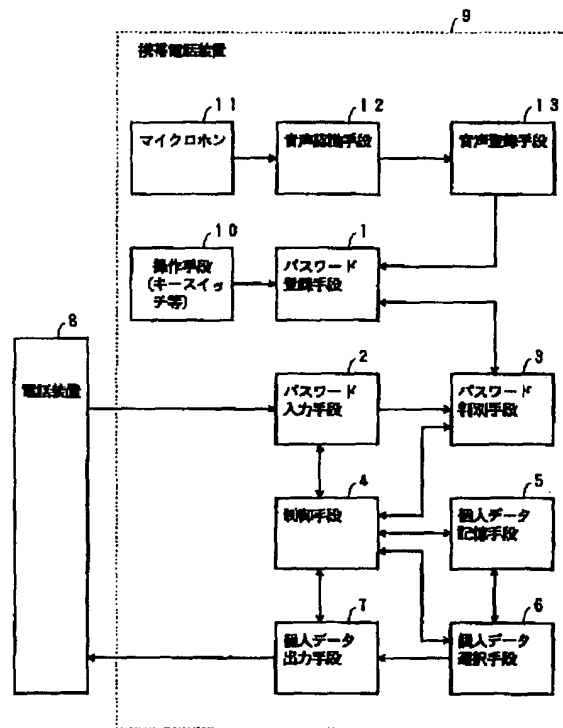
15 音声合成手段

10 16 電話装置のスピーカ

17 電話装置の表示手段

18 電話装置の印刷手段

【図 2】



F ターム(参考) 5K027 AA11 BB01 FF22 FF28 HH19
HH20 HH24

5K036 AA07 BB01 DD11 DD40 DD46
EE13 JJ07 JJ13 JJ14 JJ16